

音楽科研究部 教科伝達

音楽科研究部 山根かなみ 小底翔多

1 音楽科における「学びをつなぐ」とは

- ・音楽に対する感性を働かせながら、既にもっている音楽の知識や技能、考え方（生活経験や既習事項）を活用して本時の学習に向き合い、音楽のよさや面白さ、美しさを感じたり、音楽を学ぶ良さを自覚したりすること。

1年次→附属小の研究の成果物である整理表（教科の枠を超えた汎用的な資質・能力）と音楽の要素と仕組みの視点から授業を実践した。整理表の力の深まりと教科の資質・能力の高まりに関係性が見えた。

2年次→整理表の力を音楽科独自の枠組みで捉え直すために、音楽に対する感性に着目して授業を実践した。

3年次→2年次までの「学びをつなぐ」研究で見えてきた「学びをつなぐ」音楽科の授業が、音楽科の資質・能力育成にどのように関わっているか、「学びの自覚化」（音や音楽、音楽活動に意味や価値を見出し ていくこと）をキーワードに研究をまとめていく。

2 教科の見方・考え方

音楽的な見方・考え方

→「音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連付けること」

3 教科における知識・技能 思考力、判断力、表現力等（研究の視点で捉えた音楽科の資質・能力）

音楽科における知識

→曲想と音楽の構造（音楽の要素や仕組み）などとの関わりについて理解すること

音楽科における技能

→表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けること

音楽科における思考力、判断力、表現力等

→音や音楽と相互作用する過程で生まれる思いや考え

学びに向かう力、人間性等

→音楽に対する感性を働かせて自ら音楽に関わったり、共通の目的を仲間と共有し、協働して音楽活動に取り組んだりすること。

4 授業づくりのポイント（3年次の授業づくりの視点）

①2年次までの研究を踏まえ、音楽に対する感性の働きの視点や整理表の力の視点（子供の立場に立った授業づくりの視点）などから題材を構想する。

②題材を通して軸となる音楽の要素や仕組みから聴き取ったことや感じ取ったことを身体や絵などで「見える化」する。

③「見える化」されたことで自分が聴き取ったり感じ取ったりしていたことを意識したり、仲間と伝え合ったりする場面（協働）をつくる。（音楽的な見方・考え方を、より働かせる手立て）

④音楽的な見方・考え方をより働かせて、再び音や音楽と向き合う。

⑤②③④をくり返し（音楽との相互作用）、音や音楽そのもの、音楽活動のよさや面白さを自覚していく。

音楽科授業デザインシート

授業者：山根かなみ

題材名	詩と音楽の関わりを味わい、表現の工夫をしよう（5年1組）
教材	『待ちぼうけ』（歌唱）
本時の目標	主人公の気持ちや歌詞の情景に合う曲想になるように、歌い方を工夫する。

1 授業展開

(1) 導入

一番の歌詞の主人公の気持ちを吹き出しに書くなら、どんなセリフが入るか、それぞれでイメージし、主人公になりきって言い、どのような気持ちの表れなのか仲間と伝えあう。

(2) 展開

- ① 主人公の気持ちを想像し、一番自分が表したい場面の吹き出しにセリフを書き入れる。
- ② 書いたセリフを仲間と見あって、どういう気持ちの表れなのかを伝えあう。
- ③ グループとして一番変化をつけたい歌詞を話し合い、どのように表すのか考える。
- ④ 吹き出しを見ながら変化（強弱）をつけない歌と変化（強弱）をつけた歌を全体で試し、曲想の変化を知覚・感受し、伝えたい音楽になるように強弱の変化を工夫して歌う。

(3) 振り返り

本時の学びを振り返り、次時の課題を見つける。

2 音楽科で育みたい資質・能力

- 歌詞が表す情景や、主人公の気持ちの変化に気づき、どのように歌唱表現するかについて思いをもつ。【思考力、判断力、表現力等】
- 歌詞が表す情景や、主人公の気持ちを表現するために、音楽を形づくっている要素（強弱、速度、声の音色）の働きを生かし、工夫しながら歌うことができる。【知識・技能】
- 呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌うことができる。【知識・技能】
- 主体的に音楽に関わり、仲間と協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、歌唱表現を行うことができる。【学びに向かう力、人間性等】

3 授業者より

(1) 題材について

本題材「詩と音楽との関わりを意識して、表現の工夫をしよう」は、歌唱表現を楽しみながら展開する学習となっている。

本題材では、学びの自覚化を図る手立ての一つとして、イラストの吹き出しにセリフをつけることで、子どもが歌詞や音楽から知覚・感受したことを「見える化」していく。吹き出しの内容について、「なぜそう思ったのか？」など対話していくことで表現に対する思いを意識し、仲間と共有できるようにする。そして、思いにあった表現にするために、音楽を形づくっている要素の働きを生かし、強弱や速度、声の音色や発音の仕方などを工夫して歌うことができるようにする。今回の学習では「三人の違いが一人一人の考えの再考・再吟味を迫ることで知恵が生まれる」¹ことを生かした対話を通じた学習の深まりをねらいとし、三人組での学習活動とする。学習の終末に2年生との交流授業を設定することで、学習のゴールを明確にし、他者を意識した表現の工夫を仲間と協働しながら行うことを授業の根底におく。

本教材『まちぼうけ』の音楽的価値は、起承転結が分かりやすくコミカルに描かれた物語としての面白さである。旋律は詩のリズムを生かすために、八分音符の細かいリズムや、旋律の始めに八分休符を置き、八分音符と組み合わせることで、語感を生かしたリズムとなり生き生きとコミカルに表現されている。次に、詩を朗読した時の抑揚が生かされた音高になっており、語りかけるように歌うことができる。また、冒頭に出てくる、「待ちぼうけ 待ち

ぼうけ」をその後が続く歌詞の内容に応じて歌い方を変化させることで、多様な歌唱表現ができる面白さに気づくことができる。例えば、強弱や速度の変化と声の音色を工夫することで、主人公の嬉しい気持ちや、期待する気持ち、待ち疲れる様子、後悔する様子などを多様に展開することができる。教科書では、ヒントとなる言葉やイラストがあるため、今回は必要に応じて歌詞や楽譜、イラストを提示していく。

(2) これまでの子どもの姿と本題材で期待する子どもの姿

① 範唱を聴き、歌詞や楽譜を手掛かりに曲想の変化に気づく姿

範唱を聴いて、曲想の変化を感じ取り、曲想が音楽を形づくっている要素とどのように関わっているかに気づき、感じ取ったことと結び付けて説明する姿が見られた。例えば、「夢の世界を」では、前半のリズムの組み合わせが生み出す曲想を「タタターンと語尾が全部のびるから、さみしい感じ。(知覚・感受) 懐かしむような声で歌いたい。(表現の工夫/音色)」などと表現の工夫に生かす姿があった。

② 本題材で期待する子供の姿歌唱練習では八分休符がある旋律と八分休符がない旋律を歌い比べたり、八分音符を四分音符で歌い変えてみたりすることで、旋律の特徴を見つけ、呼吸や発声の仕方に生かして歌う。また、歌詞を朗読し物語の面白さに気づき、強調したい場面などを見つける。

歌詞のもつ言葉のリズムや抑揚が、実際の旋律の動きにどのように生かされているかについて気づき、主人公の気持ちの変化や歌詞が表す情景を想像し、どのように表すのかについて思いをもち、仲間と協働しながら自分たちの表したい表現の工夫を行う姿。例えば、「主人公が後悔してがっかりする気持ちを表すために、ゆっくりとしたテンポで、ため息交じりの小さい声で歌いたい。」と語る姿など、音楽を形づくっている要素の働きを生かした歌い方になるように工夫する姿に期待したい。

4 授業計画

第1時	2年生との交流授業に向けて、『待ちぼうけ』を歌と朗読で伝えることを確認する。歌唱練習では八分休符がある旋律と八分休符がない旋律を歌い比べたり、八分音符を四分音符で歌い変えてみたりすることで、旋律の特徴を見つけ、呼吸や発声の仕方に生かして歌う。また、歌詞を朗読し物語の面白さに気づき、強調したい場面などを見つける。
第2時(本時) 第3時	主人公の気持ちや情景を想像して吹き出しにセリフを書く。その気持ちや情景が表す内容について仲間と共有し、伝わるような歌になるように、音楽を形づくっている要素の働きを生かした表現の工夫を行う。
第4時	表現の工夫をした歌をクラスの仲間に発表し、工夫した点を伝えあう。
第5時	2年生へ『待ちぼうけ』を読み聞かせと歌で伝え、音楽で交流する。

5 見とりの視点

- (1) 歌詞に込められた主人公の気持ちや、歌詞が表す情景を表すために、どのように歌うかについて思いをもっている。(思考力・判断力・表現力)
- (2) 思いに合った曲想になるように、音楽を形づくっている要素の働きを生かした工夫を行い、歌うことができる。(知識・技能)
- (3) 楽しみながら友だちと協働して互いのアイディアを試して歌ったり、朗読したり主体的に音楽に関わることができる。(主体的に学習に取り組む態度)

「待ちぼうけ」

北原白秋作詞・山田耕筰作曲

一番 待ちぼうけ 待ちぼうけ

ある日 せっせとのらかせぎ
そこへうさぎが 飛んで出て
ころりころげた 木の根っこ

二番 待ちぼうけ 待ちぼうけ

しめたこれから寝て待とうか
待てば獲物は 駆けて来る
うさぎぶつかれ 木の根っこ

三番 待ちぼうけ 待ちぼうけ

昨日くわ取り 畑仕事
今日はほおづえ 日なたぼこ
うまい切り株 木の根っこ

四番 待ちぼうけ 待ちぼうけ

今日は今日ではで 待ちぼうけ
明日は 明日はで 森の外
うさぎ待ち待ち 木の根っこ

五番 待ちぼうけ 待ちぼうけ

もとは涼しい きび畑
今は荒れ野の ほうき草
寒い北風 木の根っこ



1	まちぼうけ	まちぼうけ	あるひ	せっせと	のらか	せぎ
2	まちぼうけ	まちぼうけ	しめた	これから	ねてま	とか
3	まちぼうけ	まちぼうけ	きのう	くわとり	はたし	ごと
4	まちぼうけ	まちぼうけ	きょう	はきょう	はで	まちぼうけ
5	まちぼうけ	まちぼうけ	もとは	すすしい	きび	ばたけ



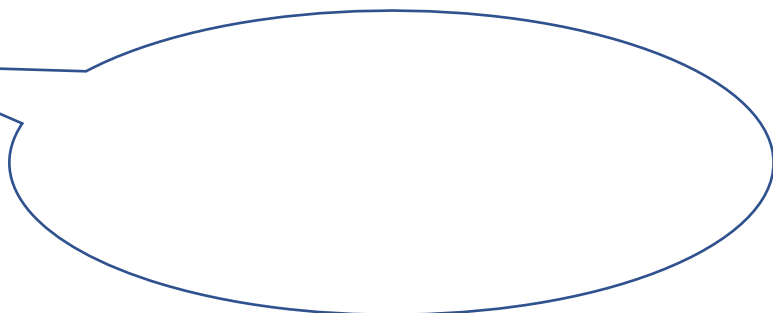
そこ	へうさぎ	が	とん	で	で	て	ころり	ころ	げた	きの	ね	っ	こ							
まて	ばえ	もの	が	かけ	て	くる	うさぎ	ぶ	つ	かれ	きの	ね	っ	こ						
きょう	は	ほ	お	づ	え	ひな	た	ぼ	こ	うまい	きり	か	ぶ	きの	ね	っ	こ			
あ	す	は	あ	す	は	で	も	り	の	そ	と	うさぎ	ま	ち	ま	ち	きの	ね	っ	こ
いま	は	あ	れ	の	の	ほう	き	ぐ	さ	さむ	い	き	た	か	ぜ	きの	ね	っ	こ	

楽譜から気付いたことや、歌ってみて気づいたことや（呼吸の仕方や発声）などをメモしよう

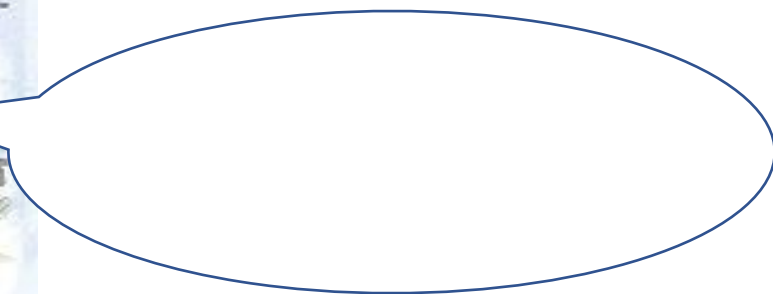
5年 組 番名前

○私・僕が一番強調したい場面に、主人公の気持ちを表すセリフを書こう

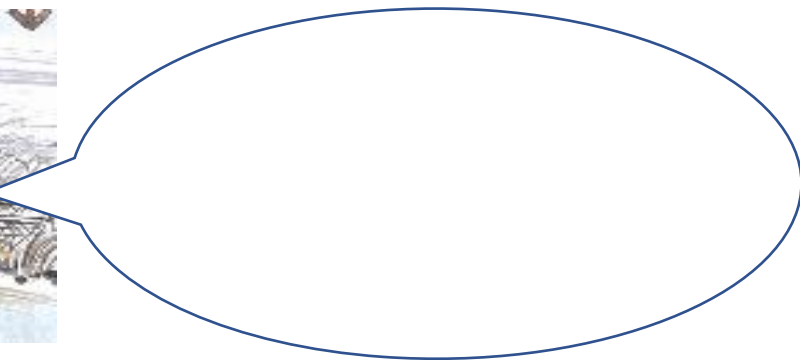
下の枠にはセリフが伝わる歌い方の工夫を書きましょう。



A large, empty rectangular box with a black border, intended for writing the technique of the dialogue.



A large, empty rectangular box with a black border, intended for writing the technique of the dialogue.



A large, empty rectangular box with a black border, intended for writing the technique of the dialogue.

5年 2組 番名前

○私・僕が一番強調したい場面に、主人公の気持ちを表すセリフを書こう



だる... けさくおわりた
い... あれ! あれ! あれ!
今日のぼんごはん かなりおいしい

ぼんごの音がきこえてくるので、とんとんとと鳴る声にする。



昨日みたいに、とせうさきの
ことだ、すてきなこと!
どうせいつか来るなら、知れなくて
いいわ!

ここは、ささの鳴る声を感じさせてうたう!



ずとまてみたけれど...
全くこなかったな...
何か食べようと思ったけど...
たばこ、あれは食べないで...
見てはよかったですね...

一番最初より近い声(くらい声)で、なげとようとうたう。

5年 2組 番名前

○私・僕が一番強調したい場面に、主人公の気持ちを表すセリフを書こう



だる... けさくおわりた
い... あれ! あれ! あれ!
今日のぼんごはん かなりおいしい

大きく明るくぼんごを鳴らす。



楽々

ゆくり明るく



楽しんだけれども...
ちびのらなは甘...
ちびのらなは甘...
ちびのらなは甘...

小さく弱く

○私・僕が一番強調したい場面に、主人公の気持ちを表すセリフを書こう



火田仕事はたほいなあ
けとわろかー

低い声だけと、あとから日月るい声で歌う
そこへから高くうたう



そのら火田仕事している
だけかえものがとれたから
ねてまじう!!

明るく、高い声で歌う
牛番のさびしいに？をつける



火田仕事をしなかが
まっしはよかった

かなしいかんで、低く歌う

5年 2組 番名前

○私・僕が一番強調したい場面に、主人公の気持ちを表すセリフを書こう



やったー ラッキー

・強く、速く、明るい 1, 2番
楽しい感じになりたかったと思うからです。



ひまたなー
うさぎまないかなー

・少し強い (MPくらい)、ゆっくり、少し明るい 3, 4番
(のんびり)
のんびりしようとしているからゆっくりがいいと思った
からです。



畑仕事やれば
よかったな。

・弱く (MPくらい)、少しゆっくり、くらい 5番
さみしくてくらいな感じだと思ったからです。

5年 2組 番名前

○私・僕が一番強調したい場面に、主人公の気持ちを表すセリフを書こう



やったー！
ラッキー！

・強く(くらい)
・速く
・明るい (1番・2番)



ひまたなー
うさぎこないかなー

・やや強く(MPくらい)
・ゆっぴ
・少し明るい(のんびり) (3番4番)



畑仕事やれば
よかった

・弱く (MPくらい)
・少しゆっぴ
・くらい (5番)

○私・僕が一番強調したい場面に、主人公の気持ちを表すセリフを書こう



火口は争つかれたゾー
(ためいき)
んえうにまう

・し、かり
ハキハキうたう → ・ 明るい声でうたう
↳ 真面目な声でうたう



うさぎがわりかたに
ぶ、か、て、く、れるから火口仕事は
やらなくて大丈夫!

・明るい声で → たのしそうに
・下さな声で ↓ くだかなしうたう



あの時頃 面白にがれは
こんなことにはなななが、
たかもしんない...

・少しちいさく歌う
・ひくい声で歌う ←
↳ 高い〜ひくいかと (少しずつ)

○私・僕が一番強調したい場面に、主人公の気持ちを表すセリフを書こう



今日からの仕事大変だ!!

MFで速い



こんな簡単に食べ物が入るから
仕事しなくていいが〜

Fの速い



MFで速い

5年 2 組 番名前 _____

○私・僕が一番強調したい場面に、主人公の気持ちを表すセリフを書こう



だるいけどがんばる！
(宿題みたいな感じ)

いちおう明るい感じで、そこへの期待からかせんに明るい感じ
いかに歌う



これでうさぎがくるなら愛なもん
たへ 仕事しなしていいん
たな

のんきな感じで、そきで明るい歌で歌う必要はおんま
りへ ねたり(少し) かいに? かける



え〜うさぎま、たくないじん！
畑仕事して木はよかたて うさぎ
こなければ

少しくらい感じであって、明るい感じがないような感じで
歌う。おちこんでいるような感じでも。

5年 2 組 番名前 _____

○私・僕が一番強調したい場面に、主人公の気持ちを表すセリフを書こう



がんばるってやるが、

低い声で歌うけれど、うさぎがとれた時は明るい感じで
や、くり、こー、かき歌う。



あ、うさぎとれたら仕事せよー

明るい声で! ちよと高め、ほむむ感じに、4番の最後「うさぎ」



あ、あんなことしなけりばよか、たな、

低い声で悲しい感じに、弱めに、

5年 2組 名前

○私・僕が一番強調したい場面に、主人公の気持ちを表すセリフを書こう



やったー
ラッキー!

- 強く
- 速く
- 明るい

(1, 2番)



ひきかたー
うさぎこないかな〜

- やや強く
- ゆっくり
- 少し明るい

(3, 4番)



火田仕事は
はよかった。

- 弱く
- 少しゆっくり
- くらい

(5番)

5年 2組 番名前

○私・僕が一番強調したい場面に、主人公の気持ちを表すセリフを書こう



はやくせ、せと畑仕事終わら
せないと... がんばろう
あうさきがてり入っている
せ

さいしょはまじめに働いている。でもうさぎを
見つけて..... さいしょ、リズムを早くする



あーあはやくうさぎ
こないかな〜よしと寝てま
うか! はやくぶつか。て
せ

ちょっとねむたそうにおそく歌欠う



はあーあの時、まじめ
にはたらくけはよかった...
寝てまたなけれはよかった
せ。

MPで歌って悲しそうに

○私・僕が一番強調したい場面に、主人公の気持ちを表すセリフを書こう



はあ、つかれたなあ
がんばらなくちゃない
うさぎの?

×ゾフォルテ

か、つうに生活している感じを出したいかな

強弱はつけすぎず、
なごさ出す



うさぎまたつかうからこ
れはないかなあ

ゆっくり、ねむい日寝たいな感じ
強弱をあきつけない



ちゃんと、あの時をもっと
がんばってれば...
こんな事にはならな
かったのになあ

小さく、低い声で歌いたい
強弱をつけて弱く歌う

○私・僕が一番強調したい場面に、主人公の気持ちを表すセリフを書こう



今日も大田仕事がんばるぜ!
あ! うさぎが木の根、ここにぶつか、た

○ふつうに生活している感じ



また、うさぎ木の根、ここ
ぶつか、てくれなうかな?

○ゆ、くりう感じ、ゆ、くりしたい



ちゃんと大田仕事をすれば
よが、た。

○ひくぬ、こりが
○しずかに

ふつうの差を大きくする